

子宮内の乳酸菌の割合に注目



7月にウェブ上で開催されたヨーロッパ生殖医学会では、子宮内全体の細菌の状態に関する研究結果が多く報告されました。

従来、子宮内は無菌状態であると考えられていましたが、近年、細菌は確認できなくても、そのDNAが存在していることも明らかになってきました。

●妊娠すると増える乳酸菌

子宮内マイクロバイーム検査 (EMMA) で子宮内膜の細菌の種類と量を調べると、子宮内の乳酸菌割合は、妊婦が最も高く、流産する人は低いという結果が示されました (グラフ参照)。さらに、子宮内の乳酸菌の量を増やすと、着床・妊娠率が上昇する結果も報告されています。

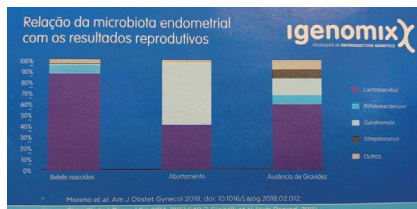
これは体外受精での妊娠率にも反映されるため、不妊の原因が分からない場合、受精卵が着床する子宮内の細菌環境が、胚移植に最適な状態であるかを検査することもできます。

●乳酸菌を増やす環境を整える

子宮内膜検体から検出された細菌を調べれば、正常な細菌 (ラクトバチルス属) の比率が高いか、細菌のバランスが悪い、病原菌がいるかなどが分かります。乳酸菌をはじめとするラクトバチルス属が優位でない場合には、乳酸菌が増えやすいように、必要に応じて適切な治療を提案します。

乳酸菌は、関節性リウマチやニキビの改善にも効果があることが知られています。ヤクルトでイメージされる腸内環境だけでなく、体の抵抗力を高めるためにも大切な常在菌です。

※『フェルチクリン』の中野英二医師に解説していただきました。



【グラフ】

《(左から) 紫色が、妊婦/流産した人/妊娠していない女性の子宮内乳酸菌の量》

フェルチクリン FERTICLIN

Av. Indianópolis, 1960 - Planalto Paulista- São Paulo - SP

Tel: (11) 5581-2045 / 5581-3566

☎ (11) 99666-1455

www.ferticlin.com.br / contato@ferticlin.com.br



不妊治療

体外受精 Fertilização In Vitro

卵子凍結保存 Congelamento de Óvulos

人工授精 Inseminação Artificial

精管切除後の治療 Vasectomizados



FERTICLIN
Clínica de Fertilidade

中野英二院長 不妊症専門医

DR RAUL NAKANO CRM 46.514
Especialista em Reprodução Humana

Av. Indianópolis, 1960 - São Paulo - SP

(11) **5581-2045** www.ferticlin.com.br

